

平成26年度事業報告

1 海外支援活動に関わる事業

本年度は、積水ハウス子ども基金よりの高額助成をいただきカンボジア支援活動の推進に大きく貢献できたことは幸運であったが、その他助成申請に関わっては残念な結果に終わった。その補填として、事業運営の多くは、一般寄付及び社員の特別寄付による募金に支えられる結果となった。

① 積水ハウス子ども基金助成事業・蒲郡国際交流協会事業

- ・対 象：シェムリアップ市バイヨン中学校
- ・事業内容：管理棟（昨年度建設支援）横に理科室（1教室）を増築、机・椅・備品戸棚の設置
- ・総事業費：2,308,000円（内積水ハウス子ども基金助成1,900,000円
蒲郡国際交流協会助成50,000円、不足分は一般寄付による）
- ・成 果：理科室の完成と共に、6人学習用のテーブルと椅子が6セット備えられ、理科の授業のみならず多様な学習実践の場として活用されている。また、生徒たちもテーブルを囲んでのグループ協働学習にも慣れ、学習効果を大いにあげている。

② アンコールクラウ地域給食事業

- ・対 象：アンコールクラウ村及び近隣村の児童、バイヨン中学校生徒
- ・事業内容：雑炊給食を実施し、食育に関わるワークショップ、手品公演の実施
- ・総事業費：263,220円（計8回、一般寄付金による）
- ・成 果：8回の内3回はバイヨン中学校におけるパン・カレー給食である。主として支援者訪問時の給食として実施し、支援者ともども好評であった（但し一回の実施額は5万円程度）。クラウ村での給食は4年目を迎えマンネリ化の傾向で、参加する子どもたちも当初に比べ半減してきている。（1回平均70人程度）

完成した理科室前での記念撮影



理科室でのスタッフによる家庭科授業



③ カンボジア教員研修招聘事業

- ・対 象：シェムリアップ州教育庁・バイヨン中学校・教員養成学校
- ・事業内容：本法人スタッフによる現地教員への研修事業の実施。通訳を含め4名の教員を蒲郡に招聘し、地元小・中学校での授業力向上のための研修、体育大会への参加、市民との対話集会

の開催。

- ・総事業費：682,941円（社員特別寄付金による）
- ・成果：愛知県内における各種学校の学校施設、学校運営、授業形態及び体育大会を中心とする学校行事を参観する中で、カンボジアにおける学校づくりに向けてさらなる意欲を喚起した。帰国後、11月に教員養成学校において事後報告会が開催された。

④ 寄贈品コンテナ輸送事業

- ・対象：シェムリアップ市バイヨン中学校及び近隣小学校
- ・事業内容：地元小中学校及び地元企業からの支援品をコンテナ輸送し、バイヨン中学校を中心とする現地の学校へ寄贈。
- ・総事業費：666,294円（一般寄付金による）
- ・成果：予想以上の支援品約6000点が集まり、6Mコンテナを利用して輸送をした。運動会実施のための大型運動具やオルガンなどなど、これらは新たな教育進展のために貢献できることと期待している。

⑤ フィリピン台風災害復興支援事業（渡邊・榎本社員自主事業）

- ・対象：レイテ島被災地住民
- ・事業内容：2013年10月フィリピン中部諸島を襲った台風災害への復旧支援。日用品・家電製品の寄贈、インフラ整備技術指導の実施。
- ・総事業費：280,000円（参加社員自費による）

2 海外公演に関わる事業

① 双日国際交流財団事業

- ・対象国：チュニジア・ネパール
- ・事業内容：前理事長によるマジック公演、折り紙レク
- ・総事業費：224,000円（内双日国際交流財団助成200,000円、不足分は自費）
- ・成果：両国の子どもたちとも、それまでマジックに触れる機会がほとんどなく非常に興味関心をもって講演会に参加していた。また、日本文化、とりわけ折り紙に触れる中で、世界の広がりや異なりを体感した子どもたちを目の当たりにして、交流することの意義を感じた。

② 海外公演交流事業（渡邊社員自主事業）

- ・対象国：ペルー・パラグワイ・パナマ・トリニダードトバゴ
- ・事業内容：前理事長によるマジック公演、折り紙レク
- ・総事業費：511,000円（自費による）